

Vol.12 No.61 2016年 10月

### 労働災害を防止するため

### リスクアセスメントを実施しましょう

平成 28 年 6 月 1 日に労働安全衛生法が改正され、リスクアセスメントが義務付けられました。対象物質は 640 物質が指定されましたが、対象物質に当たらない場合でもリスクアセスメントを行うように努めなければなりません。

リスクアセスメントの流れは以下のように 5 つのステップからなります。



事業所内で取り扱う原材料や化学薬品のラベル、**GHSマーク(絵表示)**などを都度確認し、リスクアセスメントを確実なものにしましょう。



	可燃性/引火性ガス 引火性液体 可燃性固体 自己反応性化学品 など		変同性/酸化性ガス 酸化性液体・固体		腐食物 自己反応性化学品 有機過酸化物
	金属腐食性物質 皮膚腐食性 眼に対する重大な 損傷性		高圧ガス		急性毒性 (区分1~3)
	急性毒性 (区分4) 皮膚刺激性(区分2) 眼刺激性(区分2A) 皮膚刺激性 特定種の腐食毒性 (区分3) など		水生環境有害性		呼吸器刺激性 生殖細胞変異性 発がん性 生体毒性 特定種の腐食毒性 (区分1, 2) 吸入性呼吸器有害性

事業所内で、ステップ2のリスク見積もり後のアクションとして、以下の行動が必要となります。

### リスク低減措置の内容の検討(ステップ3)

リスクアセスメントの結果に基づき、労働者などへの危険・健康障害の防止のために以下のような内容を検討します。

- 1) 危険・有害性の低い物質への代替やプロセス変更
- 2) 機械設備等の安全衛生対策。(防爆構造化、密閉化や局所排気装置などの対策の導入)
- 3) 立入り禁止などの管理対策や保護具の使用

### リスク低減措置の実施(ステップ4)

Step3 で検討した内容を速やかに実施するように努めます。

代替物質に変更する場合、その代替物の危険有害性が低いことを確認しましょう。

衛生工学的対策として、密閉や局所排気装置などを設置し、作業場所以外への拡散防止対策を行いましょう。全体換気などを行い、作業場全体の気中濃度を下げることが重要です。

### リスクアセスメント結果の周知(ステップ5)

以下の事項を周知し、教育等の記録を保存することが必要です。

- 1) 対象物質や業務名称、リスクと低減措置の内容
- 2) 作業場への常時掲示、書面での交付、パソコン端末での閲覧確認
- 3) 法令に基づく雇い入れ時や作業変更時の教育

### 【編集後記】

ススキに替わり河原や空き地に群生し秋になるとあちこちで目にする黄色い花、セイタカアワダチソウ(下写真)。この花は、明治時代に観賞用で持ち込まれたと言われる北米原産の帰化植物です。セイタカアワダチソウは「シスデヒドロマトリカリアエステル(*cis*-DME)」という化合物を根から分泌し、周囲の草花やモグラなどを駆逐し、生育圏を広げる性質(アレロパシー)があります。しかし、この *cis*-DME が土壤中に蓄積したことにより、セイタカアワダチソウ自身の成育が抑制され、再びススキが茂る萱場が戻りつつあります。一方、アメリカではススキが帰化植物として猛威を振るっているようです。



環境科学センター 水環境部 柿沼範洋

### 業務内容

調査・分析・測定部門 (水質・大気・土壌・食品・特殊分析・環境アセスメント)  
 プラント・工事・メンテナンス部門 (排水・用水処理の設計及び施行・各種メンテ)  
 水処理薬品部門 (ホーライ・空調用水処理薬品・化学洗浄関連薬品他)  
 環境保全機器部門 (滅菌剤・ろ過装置・各種測定計測器 他)



ISO9001 ISO14001

本社・環境科学センター・  
 環境保全センター環境装置部・  
 群馬営業所・茨城営業所は  
 環境マネジメントシステム  
 ISO14001:2004の認証取得事業所です。

環境科学センターは  
 品質マネジメントシステム  
 ISO9001:2000の認証取得事業所です。